

令和2年度 音楽科 2年 シラバス

学期	月	題材名	題材のねらい	時間	観点別学習状況の評価規準	評価の方法				
						テスト	実技	提出物	観察	
1	4	日本の音楽に親しもう ・日本の民謡	○日本の楽器の響きの魅力や郷土の音楽のよさを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。	2	関・意 鑑賞	日本の民謡の独特な発声や音楽の特徴に関心をもち、意欲的に聴き取ろうとしている。 他地域の音楽や楽器の音色と比較し、日本の民謡や楽器の特徴を聴き取ることができる。	○			○
		歌声を磨こう ・翼をください	○新しい仲間と歌う喜びをわかち合い、音楽学習への意欲、態度を育てる。 ○親しみやすい音楽に触れ、より広く音楽を愛しもうとする態度を育てる。		関・意 感・表 表・技	歌詞の内容や曲想、曲の構成に関心をもち、意欲的に表現しようとしている。 パートの役割と全体の響きを感じ取って、合唱の表現を工夫している。 斉唱と混声三部合唱の響きの特徴を生かし、曲の構成に合った表現ができる。	○	○	○	○
	5	曲の仕組みを理解して聴く ・交響曲第5番「運命」	○曲の構成を感じ取りながら、曲全体を味わって聴く能力を育てる。	3	関・意 感・表 鑑賞	曲の構成やオーケストラの音色に関心をもち、意欲的に鑑賞している。 曲の構成や各楽章の特徴をとらえ、オーケストラの響きや音色の味わい、曲の成り立ちを理解して聴いている。 ・多様な演奏形態を感じ取る。 同一楽曲でも表現の工夫により、音楽の表情が大きく変わることができる。	○			○
		☆言語活動			主題の表れ方や調性の変化などに注目して聴き、感想文を書く。				○	
	6	合唱の響きを楽しもう ・メッセージ ・夢の世界を	○曲の構成を理解して、歌唱表現を工夫する能力を育てる。 ○全体の響きに調和させて合唱する能力を育てる。 ○速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して、表現を工夫する能力を育てる。	3	関・意 感・表 表・技	パートの役割と全体の響きを感じ取って、合唱の表現を工夫している。 一つ一つの言葉や発音を意識しながら表現しようとしている。 表現方法を工夫しながら、表情豊かに歌うことができる。	○			○
7	楽器の特徴を生かして ・リコーダー演奏 ・簡単なアンサンブル	○楽器の特徴を生かして即興表現をしたり、曲にふさわしい音色や奏法を工夫しながら表現したりする能力を育てる。	2		関・意 感・表 表・技	さまざまな音色の楽器を用いて意欲的に創作している。 曲想を感じ取りながら、それに合ったリズム伴奏を工夫している。 曲想に合わせて、リズム伴奏を創作し、演奏することができる。	○	○		○
2	9	心の歌 ・夏の思い出	○歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫する能力を育てる。	2	関・意 表・技	歌詞と旋律とのかかわりに関心をもち、意欲的に表現しようとしている。 曲の構成に合わせた表現ができる。				○
	9 10	合唱の喜び ・学習発表会の取組	○パートの役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱する能力を育てる。 ○文化祭の練習を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。		7	関・意 感・表 表・技	曲の強さや速さに関心をもち、曲想の変化を聴き取ろうとしている。 歌詞の内容に合った速さや強弱の変化を感じ取りながら、曲にふさわしい表現を工夫している。 音程やリズム、フレーズに気をつけながら曲のイメージをしっかりもって表現できる。	○	○	○
	11	オペラの名曲を味わおう ・アイダ◎	○オーケストラと「声」とが生み出す豊かな表現を味わいながら聴くことができる。	2		鑑賞	場面の雰囲気や音楽との関係を感じ取りながら聴くことができる。	○		
	12	世界の諸民族の音楽に親しむ ・世界の諸民族の音楽	○世界の歌を中心とした音楽を聴いて、それらの特徴を感じ取る。		2	関・意 感・表 鑑賞	さまざまな声の使い方に興味・関心をもち、聴いている。 諸民族の音楽の特徴を、国や地域の文化、歴史、時代背景などと結びつけて感じ取っている。 声や楽器の音色の特徴、楽器の種類や演奏形態を理解して鑑賞することができる。	○		
3	1	日本の音楽に親しもう ・歌舞伎 ・文楽	○日本の伝統芸能の魅力や郷土の音楽のよさを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。 ○日本の伝統芸能の魅力や郷土の音楽のよさを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を育てる。	2	関・意 感・表 鑑賞	日本の楽器に関心をもち、それぞれの楽器の特徴を理解しようとしている。 楽器の音色や独特な奏法による演奏効果など、日本の楽器や伝統音楽の特徴を感じ取っている。 日本の伝統音楽に使われる楽器の音色の美しさを味わうことができる。	○			○
		曲想が生み出す雰囲気を感じて ・旋律創作	○イメージを持ち、それにふさわしい旋律をつくり、リコーダーで表現する。		2	関・意 感・表 表・技	イメージにふさわしい音色に興味を持ち、曲想の変化を感じ取ろうとしている。 イメージに合った速さや強弱の変化を感じ取りながら、曲にふさわしい表現を工夫している。 創作した旋律を正しく記譜することができる。	○		
	2	合唱の喜び	○歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する能力を育てる。 ○卒業式への取組を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。	2	関・意	曲の背景や作詞者の心情に関心をもち、歌い方でいこうとする意欲をもっている。	○			○
	3	儀式 ・国歌 ・仰げば尊し ・さようなら	○詩や旋律が生み出す情感を感じ取り、速度や強弱、歌い方などに着目して、自分なりの表現を工夫している。 曲の雰囲気に合った強弱の変化などを感じ取り、表現に生かすことができる。		3	感・表 表・技		○		
	総時間数				35					